



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 三信建設工業株式会社  
 コード番号 1984 URL <http://www.sanshin-corp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大沢 一実  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 関和 一郎  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-5825-3700

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,935	15.4	253	59.3	280	119.4	148	229.1
29年3月期第2四半期	4,275	18.1	158	3.7	127	27.8	44	71.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 206百万円 (693.6%) 29年3月期第2四半期 26百万円 (80.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	15.40	
29年3月期第2四半期	4.67	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	10,513	5,893	56.1
29年3月期	9,929	5,831	58.7

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 5,893百万円 29年3月期 5,831百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				15.00	15.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	9.8	500	16.3	540	3.8	300	9.1	31.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	10,000,000 株	29年3月期	10,000,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	387,250 株	29年3月期	386,950 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	9,612,750 株	29年3月期2Q	9,625,346 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が継続し、個人消費の持ち直しがみられるなど、国内景気は緩やかな回復基調が続いております。一方海外経済は、米国の政策不透明感や依然不安定な欧州の政局や地政学的なリスクによる不確実性の高まりなど、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの場合は、主として地盤注入工、アンカー・斜面安定工、地盤改良工等の特殊基礎土木の専門工事に特化し、V-JET、マルチファン、グランドフレックスモール、CPGガイドアーク、ハイスベックネイリングなどの時代のニーズに合った新技術の開発及び改良を行い、また固有の技術力の向上を図りつつ相応した事業規模で「選択と集中」を基本戦略として堅実に経営を続けております。更に、CPG、WILL、MITS、トンネル裏込注入などが国土の復旧・復興及び震災対策並びに国土強靱化に伴うインフラ整備に貢献するとともに、受注工事高、完成工事高及び利益等の事業計画達成に全力を挙げて取り組んでおります。また、前連結会計年度に横浜営業所を開設し、直受工事を中心とした受注活動の拠点として活動をしております。

受注工事高につきましては、大型工事等の受注により59億52百万円(前年同四半期比11.2%増)となりました。

完成工事高につきましては、前連結会計年度からの繰越工事高が増加したこと、当第2四半期連結累計期間の受注工事高の増加により49億35百万円(前年同四半期比15.4%増)となりました。

利益面につきましては、完成工事高が増加したことにより営業利益は2億53百万円(前年同四半期比59.3%増)となりました。また、前連結会計年度に比べて為替相場が円安へ推移したことにより、経常利益は2億80百万円(前年同四半期比119.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億48百万円(前年同四半期比229.1%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## (東日本事業グループ)

地盤注入工、地盤改良工を主とした土木工事から構成され、セグメント売上高は30億87百万円(前年同四半期比23.5%増)となり、セグメント利益は4億40百万円(前年同四半期比67.9%増)となりました。

## (中日本事業グループ)

地盤注入工、アンカー・斜面安定工を主とした土木工事から構成され、セグメント売上高は9億53百万円(前年同四半期比5.5%減)となり、セグメント利益は50百万円(前年同四半期比9.1%増)となりました。

## (西日本事業グループ)

地盤注入工、地盤改良工を主とした土木工事から構成され、セグメント売上高は5億18百万円(前年同四半期比38.5%増)となり、セグメント利益は3百万円(前年同四半期比89.0%減)となりました。

## (海外事業グループ)

地盤注入工を主とした土木工事から構成され、セグメント売上高は2億52百万円(前年同四半期比21.7%増)となり、セグメント損失は8百万円(前年同四半期は20百万円のセグメント損失)となりました。

## (子会社)

建設用資機材販売及び受取特許料から構成され、セグメント売上高は2億75百万円(前年同四半期比9.9%増)となり、セグメント利益は35百万円(前年同四半期比41.1%増)となりました。

## (その他)

建設用資機材販売及び受取特許料から構成され、セグメント売上高は70百万円(前年同四半期比14.5%減)となり、セグメント利益は37百万円(前年同四半期比53.5%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、105億13百万円であり、前連結会計年度末に比べ5億83百万円の増加となりました。主な要因は、売上債権が減少したものの、未成工事支出金及び建設仮勘定が増加したことによるものであります。

総負債につきましては、46億19百万円であり、前連結会計年度末に比べ5億20百万円の増加となりました。主な要因は、未払法人税等が減少したものの、未成工事受入金が増加したことによるものであります。

純資産につきましては、58億93百万円であり、前連結会計年度末に比べ62百万円の増加となりました。自己資本比率は56.1%(前連結会計年度末は58.7%)となっております。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて3億23百万円増加し、24億30百万円となりました。その内訳は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は6億70百万円(前年同四半期比38.7%増)となりました。

これは主に、未成工事支出金の増加により資金が減少したものの、売上債権の減少及び未成工事受入金の増加により資金が増加したことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億5百万円(前年同四半期比64.3%減)となりました。

これは主に、投資有価証券の償還により資金が増加したものの、有形及び無形固定資産の取得により資金が減少したことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億46百万円(前年同四半期比68.2%増)となりました。

これは主に、配当金の支払により資金が減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の連結業績予想につきましては、「平成29年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」(平成29年5月12日)で公表いたしました通期の連結業績予想について修正しております。詳しくは、本日(平成29年11月13日)別途公表いたしました「平成30年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	2,484,083	2,829,258
受取手形・完成工事未収入金等	3,024,275	2,369,750
電子記録債権	662,406	1,107,097
未成工事支出金	185,228	517,914
繰延税金資産	98,935	58,391
その他	81,025	96,402
貸倒引当金	△775	△713
流動資産合計	6,535,179	6,978,101
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	67,012	64,957
機械・運搬具(純額)	695,778	692,142
土地	173,963	173,963
建設仮勘定	106,144	245,466
その他(純額)	46,280	84,131
有形固定資産合計	1,089,178	1,260,662
無形固定資産	10,975	10,714
投資その他の資産		
投資有価証券	2,199,655	2,171,161
その他	99,072	97,268
貸倒引当金	△4,127	△4,814
投資その他の資産合計	2,294,601	2,263,615
固定資産合計	3,394,756	3,534,992
資産合計	9,929,935	10,513,093
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,712,051	2,691,003
短期借入金	500,000	500,000
未払金	273,792	234,945
未払法人税等	165,497	51,058
未成工事受入金	48,587	680,806
完成工事補償引当金	900	900
工事損失引当金	50,500	75,200
賞与引当金	86,644	60,737
その他	154,994	168,598
流動負債合計	3,992,967	4,463,249
固定負債		
繰延税金負債	32,541	58,785
役員退職慰労引当金	57,890	57,890
退職給付に係る負債	3,705	-
その他	11,634	39,466
固定負債合計	105,771	156,142
負債合計	4,098,739	4,619,391

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	904,753	904,753
利益剰余金	4,255,516	4,259,364
自己株式	△61,084	△61,189
株主資本合計	5,599,185	5,602,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	232,010	290,773
その他の包括利益累計額合計	232,010	290,773
非支配株主持分	-	-
純資産合計	5,831,196	5,893,701
負債純資産合計	9,929,935	10,513,093

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高		
完成工事高	4,275,402	4,935,333
売上高合計	4,275,402	4,935,333
売上原価		
完成工事原価	3,622,737	4,163,753
売上原価合計	3,622,737	4,163,753
売上総利益		
完成工事総利益	652,665	771,579
売上総利益合計	652,665	771,579
販売費及び一般管理費	493,732	518,370
営業利益	158,932	253,208
営業外収益		
受取利息	5,692	6,194
受取配当金	20,657	15,934
その他	4,143	10,695
営業外収益合計	30,493	32,824
営業外費用		
支払利息	1,359	1,687
有価証券売却損	1	2,313
為替差損	59,592	-
その他	483	1,281
営業外費用合計	61,437	5,282
経常利益	127,988	280,751
特別利益		
投資有価証券売却益	-	36,720
その他	358	-
特別利益合計	358	36,720
特別損失		
損害賠償金	-	80,000
その他	451	1,022
特別損失合計	451	81,022
税金等調整前四半期純利益	127,896	236,448
法人税、住民税及び事業税	14,897	45,402
法人税等調整額	68,009	43,002
法人税等合計	82,906	88,404
四半期純利益	44,989	148,044
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	44,989	148,044



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	44,989	148,044
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,930	58,762
その他の包括利益合計	△18,930	58,762
四半期包括利益	26,059	206,806
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,059	206,806
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	127,896	236,448
減価償却費	95,542	119,287
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△298	624
工事損失引当金の増減額(△は減少)	-	24,700
賞与引当金の増減額(△は減少)	△32,411	△25,907
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△3,705
受取利息及び受取配当金	△26,349	△22,129
支払利息	1,359	1,687
為替差損益(△は益)	59,846	△5,495
有価証券売却損益(△は益)	△753	△3,947
有形固定資産除却損	383	1,022
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△36,720
損害賠償損失	-	80,000
売上債権の増減額(△は増加)	615,329	209,835
未成工事支出金の増減額(△は増加)	1,310	△332,686
その他の流動資産の増減額(△は増加)	13,337	2,019
仕入債務の増減額(△は減少)	△207,719	△21,047
未成工事受入金の増減額(△は減少)	7,112	632,218
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△63,845	△65,495
その他の固定負債の増減額(△は減少)	-	3,705
その他	△3,997	1,033
小計	586,740	795,450
利息及び配当金の受取額	27,508	24,751
利息の支払額	△1,359	△1,687
法人税等の支払額	△129,464	△147,767
営業活動によるキャッシュ・フロー	483,425	670,746
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△36,000	△21,000
投資事業有限責任組合出資の払戻による収入	6,537	7,800
有形及び無形固定資産の取得による支出	△162,380	△334,282
有形及び無形固定資産の売却による収入	125,456	-
投資有価証券の取得による支出	△511,014	△2,132
投資有価証券の売却による収入	-	37,401
投資有価証券の償還による収入	103	105,070
貸付金の回収による収入	1,386	1,618
その他の支出	△1,496	△662
その他の収入	876	469
投資活動によるキャッシュ・フロー	△576,530	△205,717
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△9,348	△105
配当金の支払額	△77,189	△144,195
その他	△480	△2,046
財務活動によるキャッシュ・フロー	△87,018	△146,347
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46,213	5,013
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△226,338	323,694
現金及び現金同等物の期首残高	2,614,855	2,106,466
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,388,516	2,430,160

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	東日本 事業 グループ	中日本 事業 グループ	西日本 事業 グループ	海外 事業 グループ	子会社	計				
売上高										
外部顧客 への売上 高	2,500,259	1,009,242	374,699	207,486	150,597	4,242,285	33,117	4,275,402	—	4,275,402
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	—	—	—	100,515	100,515	49,621	150,137	△150,137	—
計	2,500,259	1,009,242	374,699	207,486	251,112	4,342,800	82,739	4,425,539	△150,137	4,275,402
セグメント 利益又は 損失(△)	262,340	46,279	29,968	△20,942	24,812	342,458	79,895	422,354	△263,421	158,932

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術本部等を含めて記載しております。

2. セグメント利益の調整額△263,421千円には、主に社内損料として計算した減価償却費・機械等修繕費と四半期連結損益計算書計上額との差額23,237千円、賞与引当金取崩額と繰入額との差額16,270千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△308,671千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	東日本 事業 グループ	中日本 事業 グループ	西日本 事業 グループ	海外 事業 グループ	子会社	計				
売上高										
外部顧客 への売上 高	3,087,554	953,404	518,849	252,511	58,451	4,870,772	64,560	4,935,333	-	4,935,333
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	-	-	-	-	217,401	217,401	6,149	223,551	△223,551	-
計	3,087,554	953,404	518,849	252,511	275,853	5,088,174	70,709	5,158,884	△223,551	4,935,333
セグメント 利益又は 損失(△)	440,446	50,509	3,288	△8,403	35,013	520,854	37,117	557,972	△304,763	253,208

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術本部等を含めて記載しております。
2. セグメント利益の調整額△304,763千円には、主に社内損料として計算した減価償却費・機械等修繕費と四半期連結損益計算書計上額との差額44,852千円、賞与引当金取崩額と繰入額との差額12,487千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△333,306千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。